

令和8（2026）年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会 会議録

会議名称 令和8(2026)年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会

日 時 令和8(2026)年7月16日(木) 午前9時30分開会 午前9時50分閉会

会 場 大田原市役所 102 会議室

出席者

●選定委員

●事務局

氏 名	役 職	氏 名	役 職
篠山 充	教育委員会教育長	伊藤 甲文	教育部長
小林 朋子	教育委員会教育委員	萩原 孝夫	学校教育課長
菊地 孝行	区長連絡協議会副会長	植竹 勉	学校教育課学校教育係長
益子 一敏	自治公民館連絡協議会副会長	藤田 知史	学校教育課指導主事
郡司 祥久	大田原市小中学校長会長	内海 知恵	学校教育課指導主事

欠席者：高松 一洋（小学校保護者代表）、大竹 正男（中学校保護者代表）

事務局：定刻になりましたので、ただ今から、令和8年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を開会いたします。

はじめに、本委員会の会長であります篠山会長より御挨拶を申し上げます。

会 長：皆さん、改めましておはようございます。本日は、大変お忙しいところ、本市の第2回小中学校教科用図書選定委員会にお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

さて、本日の会議でございますが、調査員より調査結果の報告を受け、7月22日の教育委員会への答申内容を検討する会議になります。調査員は、本市の子どもたちの実態に基づき、どの教科書が良いかという観点で調査研究しております。本日はその調査結果に基づいての選定をお願いしたいと思っております。

なお、本会議は前回の会議で確認をしておりますけれども、大田原市立小中学校教科用図書選定委員会設置要綱第7条によりまして、選定委員会による協議は公開、調査員会の報告及び選定委員会による議決は、非公開とさせていただきます。ただ、本日は傍聴希望がないということですので、報告・質疑の後、続けて協議をやらせていただきたいと思います。

どうぞ本市の子どもたちのために、最も適した教科書の採択を答申できますよう、慎重なる御審議をお願いいたしまして、私の挨拶といたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：続いて、調査員による報告となります。本日、現時点で傍聴人がおりませんので、このまま続け

させていただきます。公開の協議のところになりましたら、改めて入口を開けさせていただきます。

事務局：では、3番の調査結果の報告に入る前に事務局から連絡がございます。

事務局：おはようございます。本日の資料について確認いたします。要項と資料が1～3までございます。これらの資料につきましては、本日の会議終了後に回収をさせていただきます。

次に、本日の流れにつきまして確認いたします。要項表紙を御覧ください。このあと、3調査結果の「報告・質疑、協議、議決」に入ります。まず、「報告・質疑」についてですが、調査員からの「報告・質疑」は非公開です。特別支援学級用図書について小学校・中学校それぞれの調査員代表から、採択を希望する一般図書の特徴や採択を希望する理由について「報告」があります。報告をお聞きいただいた後、「質疑」の時間を設けますので、皆様から、報告の内容やその他疑問点について質問をしていただきます。

そのあと、調査員が退室いたしますので、委員の皆さんには、「協議」をしていただきます。「協議」は本日、傍聴人はおりませんが、公開で実施いたします。選定委員の皆様にご意見交換をしていただきます。本市の児童・生徒が使用するにふさわしい教科用図書についての御意見を願います。

「協議」のあとは、「議決」をします。非公開です。

次に、要項2ページ「特別支援学級の教科用図書採択・使用上の注意」をご覧ください。1採択・使用の原則の2行目途中からです。「学校教育法附則第9条の規定により、小・中学校の特別支援学級で特別の教育課程による場合において、教科により当該学年の検定済教科書を使用することが適当でないときは、他の適切な教科書を使用することができることとなっている。」とあります。そのことについてさらに、2の(5)をご覧ください。「検定済教科書の下学年用及び、文部科学省著作教科書を使用することが不適当な場合にあっては、絵本等の一般図書を教科書として採択・使用することができる。」となっています。本日は、この「一般図書」を選定させていただきます。

要項3、4ページをご覧ください。表の一般図書の欄にある丸印（○）のついている図書に関しては、現在も大田原市の特別支援学級において使用しているものです。四角印（◇）のものが今年度新たに調査研究した一般図書です。本日はこの四角印の図書を中心に代表者から報告があります。私からは以上です。

事務局：では、このあとの進行は会長をお願いいたします。
よろしくお願いいたします。

会 長：それでは、ここからの進行は、私の方で進めさせていただきます。

会 長：はじめに、小学校特別支援学級用教科用図書についての報告となります。調査員の先生の入室をお願いいたします。

調査員：令和9年度使用小学校特別支援学級用教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。

要項の3、4ページの「令和9年度使用小学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で34冊について調査研究いたしました。

今回の調査では、今まで使用していた図書に3冊を取り入れ、1冊を削除いたしました。新たに取入れた図書は、「理科」、「生活」、「外国語（英語）」で、◇の印が付いています。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新たに取入れた図書3冊、削除した1冊について説明いたします。

初めに、理科について説明いたします。

昨年度、採択されていた「小学1・2年生のうちに『りか』の見方・考え方が楽しく身につく本」は、供給が在庫限りであるため削除いたしました。

新たに取入れたのは、BUNRI「ふしぎはっけん！たんきゅうブックかがく編」です。本書は、学習したことが遊びや生活の中で生かされるよう配慮されており、児童一人一人の興味・関心に応じた内容になっています。説明の文章は簡潔で分かりやすく、漢字や片仮名には振り仮名が表記されており、読むことに苦手意識のある児童も読むことへの心理的ハードルが下がり、「楽しい」「分かる」という自信につながります。挿し絵、写真が適切に配置され、視覚的に内容を捉えやすい工夫もされています。水の性質・影の形・光の反射・植物の育ち方・身近な道具の仕組みなどの内容がそれぞれ段階的に学習できるよう構成され、付属のシートを活用することで学習を深め発展させることができます。

次に、生活について説明いたします。

新たに取入れたのは、あかね書房「かばくん・くらのえほん3かばくのはる・なつ・あき・ふゆ」です。日常生活に即した内容が多く盛り込まれており、生活に役立てることができると考えたため、昨年度採択されている2冊に加えこちらを取り入れました。本書は、親しみやすい挿し絵で、季節に応じた生活の様子が分かりやすく描かれています。児童の生活経験に即した場面が取り上げられており、児童一人一人の興味・関心に応じることができます。一つの場面が見開きで短い文と絵でまとめられていて、区分もはっきりしていて分量も適切です。生活に即した言葉を覚えたり、話題を広げたりすることができ、系統的、発展的に学習できる内容となっています。

最後に、外国語について説明いたします。

新たに取入れたのは、パイインターナショナル「はじめてのえいごでおしゃべりえほん」です。日常的な英会話表現を学ぶことができ、生活に役立てることができると考えたため、昨年度採択されている2冊に加えこちらを取り入れました。本書は、身近な英単語や挨拶、生活場面に沿った会話表現が示されているため、児童の発達段階に応じて活用できる内容になっています。また、学習指導要領に示されている目標にも十分適合しています。適切な文字の大きさと、場面に即した親しみやすいイラストを用いているため、児童が興味をもって学習できます。また、付属のCDの音声に合わせて繰り返し発音練習をしたり、歌で学習した内容を定着させたりして、英語に親しむこともできます。

以上の3冊が、令和9年度使用小学校特別支援学級用教科用図書として、新たに取入れた図書

です。

34冊、小学校特別支援学級用教科用図書として、ふさわしいと思われる図書について調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしくお願いいたします。

会長：はい、それでは新たに採用したいということで、3冊ございました。ただ今、報告いただきました内容について、委員の皆様方から御質問等ありましたらお願いしたいと思います。

委員：ありません。

会長：よろしいですか。それでは、調査員の先生、ありがとうございました。

会長：続きまして、中学校特別支援学級用教科用図書についての報告になります。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会長：それでは、よろしくお願いします。

調査員：令和9年度使用中学校特別支援学級用教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。

要項の5、6ページの「令和9年度使用中学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で37冊について調査研究いたしました。今回の調査では、今まで使用していた図書に4冊を取り入れ、2冊を削除いたしました。新たに取り入れた図書は、「社会」、「地図」、「理科」、「道徳」で、◇の印が付いています。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新たに取り入れた図書4冊、削除した2冊について説明いたします。

まず、社会について説明いたします。

今回、「さがしてみよう！マークのえほん改訂版」を追加いたします。この図書は、身の回りのマークや公共機関・施設の利用の仕方などについて、簡潔にまとめられています。

公共施設の利用等について、見開き1ページを使って、平易な文章とわかりやすいイラストとマークで示してあります。

他にも、暮らしを支える仕組みや社会生活の決まりについて紹介されており、ほかの2冊にはない、マークを使って視覚的に情報を獲得する方法を学ぶこと、それを日常生活で活用する手段として適切と判断いたしました。

そして、地図帳として、「小学クイズと絵地図で47都道府県基礎丸わかり」を追加いたします。この図書は日本の国土・地方・都道府県に関する事柄を楽しみながら理解し、学んでいくことができます。

各都道府県の特徴が文章だけでなく、地図や資料、親しみやすいイラストなどによって示されています。農業・水産業・工業・交通などの資料データも図やイラストでわかりやすくまとめ

であるため、日本を地図から学ぶ教材としてふさわしいと判断しました。現在、採択されている「るるぶ地図でよくわかる都道府県大百科」と比較すると、クイズやパズルなどを活用することによって、書き取りや読み取りをしながら学びを深める体験をすることもでき、生徒の実態に合わせて選択することも可能と考えました。

次に、数学の「これでわかる算数小学2年」ですが、来年度の出版予定がないため、削除いたしました。内容は、現在採択されている「くらしに役立つ数学」と「☆4」と「☆5」の☆本で補えると判断しましたので、削除に伴う追加はありません。

次に、理科で追加いたしました「ひらめく理科」について説明いたします。

こちらの図書は、特別支援学校中学部学習指導要領（理科）に示されている、A 生命・B 地球・自然 C 物質・エネルギー のそれぞれの内容を学ぶことができます。それぞれの内容についてわかりやすいイラストや写真とともに簡潔な言葉で表記されています。

こちらのページは生徒の思考を促す発問があり、右ページで解説しています。また、身近なものを使った実験が紹介されています。図書から得た情報が、実際の生活における身の回りのものの性質や様子の観察へとつながるよう工夫された構成となっています。

そのため、身の回りの自然や物質に注目しながら学習に取り組むことで、疑問をもつ力や、予想や仮説を立てる力を養うことに活用できると考えました。

次に、道徳について説明いたします。昨年度「絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん」が採択されていましたが、中学生の発達段階に適していないと判断しましたので削除いたしました。

新たに取り入れたのは、「育ちの良さが身につくおさほうえほん」です。こちらの図書は、人との関わり方について基本的な事柄が取り上げられています。

それぞれのテーマごとに見開き1ページで構成されており、近所や友達とのお付き合いなど、生徒が学校生活や社会生活を営む上で経験する内容が取り上げられ、わかりやすいイラストと易しい言葉で示されています。日常生活において、相手のために配慮することで、人間関係を円滑にできる「おさほう」を学び生活に生かすことで、生徒の周りの人間関係を良好にできる知識を身につけることができる内容であると判断いたしました。

全37冊、中学校特別支援学級用教科用図書としてふさわしいと思われる図書について、調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしくお願いいたします。

会 長：ありがとうございました。それではただ今、報告いただきました内容について、委員の皆様方から御質問などがありましたらお願いしたいと思います。

委 員：ありません。

会 長：よろしいでしょうか。それでは、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：それでは、続きまして協議に入りたいと思います。

会 長：ただ今、小中学校特別支援学級の教科用図書について、調査員の方から報告がございましたが、御意見等がございましたらお願いしたいと思います。

委 員：感想になってしまいますが、数ある本の中からこれがふさわしいというものを選んでいただいて、先生方の御苦労も大きかったかなと思います。特に小学校では、興味・関心や楽しく学べるということを重視して選んでいただいているということを感じました。やっぱり楽しく学ぶということは、個人差のある特別支援学級の子たちには一番大切だと思うので、そのへんを考えて選んでくださっているということを感じました。

会 長：ありがとうございます。感想をいただきました。その他、いかがでしょうか。

会 長：よろしいですか。ありがとうございました。それでは、議決となります。
はじめに、小学校特別支援学級の教科用図書については、新たな3冊を加えるということによろしいでしょうか。

委 員：はい、結構です。

会 長：小学校特別支援学級の教科用図書については新たな3冊を加えた 34 冊を認めるということにします。

会 長：続きまして、中学校特別支援学級の教科用図書については、新たな4冊を加えるということによろしいでしょうか。

委 員：はい、結構です。

会 長：ありがとうございます。では、中学校特別支援学級の教科用図書については新たな4冊を加えた 37 冊を認めるということにします。
それでは、すべての選定が終了しました。私の進行は以上で終了いたします。
本日、選定されたものを教育委員会に答申をいたします。
進行を事務局に戻します。

事務局：委員の皆様、御協議、御審議ありがとうございました。会長からもありましたとおり、本日の内容は7月22日（水）に行われる教育委員会に答申をさせていただきたいと思います。

それでは、本日の予定は以上となりますが、事務局から何かございますか？

事務局：大丈夫です。

事務局：はい、ではありがとうございました。以上で、令和8年度第2回大田原市立小中学校教科用図書
選定委員会を閉会とさせていただきます。大変お疲れさまでした。